

単元名

第3学年 NEW CROWN Series3
Lesson 6 Image to Act

内容のまとめ

「書くこと」 ウ

1 「書くこと」における第3学年の目標

(i) 日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことについて、話題に対しての賛否や自分の意見を述べたり、その(ii) 理由や根拠を明確に述べたりしながら、(iii) 内容を整理して、読み手に分かりやすい文章を書くことができる。

2 Lesson6単元の目標

(i) 中学校生活における思いを込めた英文の詩を後輩へ伝えるために、中学校生活における一番思い入れのあるものや学校行事等になりきり、(ii) 内容を整理して、(iii) 読み手に思いが伝わる英文を書くことができる。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・仮定法の特徴やきまりを理解している。 ・内容を整理して、読み手に自分の思いが伝わる英文を書く技能を身に付けている。 	<p>詩によって自分の中学校生活における思い出を後輩へ伝えるために、一番思い入れのあるものや学校行事等になりきり、内容を整理して、読み手に思いが伝わる詩を書いている。</p>	<p>詩によって自分の中学校生活における思い出を後輩へ伝えるために、一番思い入れのあるものや学校行事等になりきり、内容を整理して、読み手に思いが伝わる詩を書こうとしている。</p>

4 言語活動における主な留意点

- 1 読み手のイメージを掻き立てる詩におけるポイントを指導する際に、はじめからポイントを示すのではなく、JTEや生徒が作成した詩を全体交流し、生徒がそのポイントに気付くことができるように留意する。
→第1時・第8時
- 2 仮定法の指導においては、教科書本文や、Listenにおけるスクリプトを読むことを通して、過去形や could 及び would を使用すること及び語順について、生徒が気付くことができるように、仮定法の文を提示した上で、生徒に共通している点はないか質問することによって生徒の気付きを促し、仮定法の用法を身に付けることができるように指導する。→第3時・第5時
- 3 詩を作成する段階で、マッピングを指導する際は、タブレットを使用し、文ではなく、単語を線でつないで作成するよう指導し、ものや行事の説明のようにならないよう留意する。→第1時・第8時
- 4 詩を交流する際は、視点(読み手のイメージを掻き立てる詩にするポイント)をもって交流し、自分の詩をよりよくするために交流するという目的についても指導する。→第9時

5 展開案を含む単元指導計画

時間	主な言語活動	備考	知	思	態
1 (学習の見通しをもつ時間)	<p>導入</p> <p>■JTE の作成した英文の詩を読むことを通して、読み手のイメージを掻き立てる工夫（間接的な表現・自分ではない視点）をすることが有効であると気づき、単元終末では後輩へ残していく英文詩集を作成する際に活用できるという見通しをもつことができる。</p> <p>①JTE の詩を読む。 ②何を意識して詩を作成したのか考え、交流する。 ③身の回りにあるものになりきり、詩を書く。 ④仲間と自分が書いた詩を交流して、工夫した点について確認し合う。 ⑤単元における個人目標を書く。</p>	<p>You have had me since 8 years ago. Sometimes I hide in your bag. I feel happy when you found me. I'm very useful. I wish you could use me forever.</p> <p>・タイトルは、生徒が想像するようになる。 ・JTE が作成したマッピングを示し、詩の作成における考え方を参考にする。</p> <p>◆学習支援ツールを使用して、単元における個人目標を提出する。</p>			
2 (気づき、理解する時間)	<p>Get Part I - ①</p> <p>■ケイトと陸のタイムマシンについての対話文を読むことを通して、陸が過去へ行きたい理由について理解し、もしタイムマシンがあったら自分は過去又は未来へ行きたい理由について書くことができる。</p> <p>①Small Talk If you had much time on weekend, what do you want to do? ②本文の動画を視聴する。 ③単語・音読練習を行う。 ④<Topic> "Which one would you go past or future if you had a time machine?"ペアで対話活動を行う。 ⑤④における自分の考えを書きまとめる。</p>	<p>◆②, ③において、デジタル教科書を活用し、本文内容の動画を視聴及び単語練習を行う。</p> <p><②における視点></p> <p>・陸はどこへ行きたいのか。 ・その理由は何か。 ・④において、トピックに対する自分の考えについて、過去又は未来へ行きたいということだけではなく、その理由について伝え合うことを指導する。</p>			
3 (気づき、理解する時間)	<p>Get Part I - ②</p> <p>■「もしタイムマシンがあったら…」というテーマで話している英文を聞くことを通して、仮定法の用法を理解し、どの時代に行き、何をしたいのか正確な英文を書くことができる。</p> <p>①Small Talk If you had 10,000 yen, what would you buy? ②p.89 Listen を行う。 ③p.89 Drill を行う。 ④<Topic>"If you had a time machine, what period would you go?"ペアで対話活動を行う。 ⑤④で交流した自分の考えを書きまとめる。</p>	<p>◆②, ③において、デジタル教科書を活用し、リスニングや音読練習を行う。</p> <p>・②において、スクリプトを確認し、文字と音声の一致を図るとともに、仮定法が使用してある英文を確認する。 ・③において、すべての英文に共通していることを生徒に問うことで、would や過去形を使用することを確認する。</p> <p>○生徒が提出した英文を、単元の評価規準に照らして評価する。</p>	○		

記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確認に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけに十分な留意する。

時間	主な言語活動	備考	知	思	態
4 (気付き, 理解する時間) 【本時】	Get Part2-① ■ (i) ジンが願うアプリについて、まとまりのある英文を読み取る活動を通して、登場人物の主張と (ii) その理由を理解し、自分が願うアプリと (iii) その理由について英文を書くことができる。 ① Small Talk If you could use a <i>Doraemon's</i> tool, what would you use? ② 本文内容の動画を視聴する。 ③ 単語・音読練習を行う。 ④ <Topic> "What app do you wish to make our school life better?" ペアで対話活動を行う。 ⑤④で交流した (iii) 自分の考えを書きまとめる。	◆②, ③において、デジタル教科書を活用し、本文内容の動画を視聴及び単語練習を行う。 <②における視点> ・ジンは、何を望んでいるのか。 ・その理由は何か。 ・④において、自分の願うアプリだけではなく、(ii) その理由を伝え合うよう指導する。			記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。
5 (気付き, 理解する時間)	Get Part2-② ■ ねずみくんの願いを聞き取る活動を通して、wish を使用した仮定法の用法について理解し、ねずみくんになりきって、願いを書くことができる。 ① Small Talk If you were your mechanical pencil, what would you wish for? ② p.91 Listen を行う。 ③ p.91 Drill を行う。 ④ p.91 Speak & Write に取り組む。 ⑤④で書いた英文を交流する。	◆②, ③において、デジタル教科書を活用し、リスニングや音読練習を行う。 ・④において、どの動物になりきるのか選択し、英文を書く。 ◆⑤において、学習支援ツールで共有し、英文を読み合う。 ・⑤において、仲間と英文交流後、改めて自分の英文を書き足したり、書き直したりするよう指導する。 ○生徒が提出した英文を、単元の評価規準に照らして評価する。	○		
6 (収集し, 整理する時間)	USE READ-① ■ 陸の卒業スピーチ原稿を読む活動を通して、各段落における伝えたい内容について理解し、自分が最も共感した英文について、その理由を書くことができる。 ① Small Talk What do you want to be in the future? ② 単語・本文の音読練習を行う。 ③ 各パラグラフにおける Key Word を抜き出す。 ④ 自分が最も共感した英文を1文抜き出し交流する。 ⑤④の英文について、自分が最も共感した理由を書きまとめる。	◆②において、デジタル教科書を活用する。 ・③において、Key Word は、Key Sentence にあること、言い方を変えて複数回本文に出てくることを指導する。 ・③において、各パラグラフに伝えたいことは1つであること (One paragraph, one meaning) を指導する。			記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。
7 (収集し, 整理する時間)	USE Read-② ■ 陸の卒業スピーチ原稿を読む活動を通して、スピーチにおける要点と段落構成について理解し、自分で考えた表を作成し、要点を書きまとめることができる。 ① ペアで本文の音読練習を行う。 ② p95 Guide1 を行い、仲間と互いの考えにおける理由について交流する。 ③ p95 Guide2 を行い、解答の理由について、仲間と交流する。 ④ p95 Goal を行い、自分が要点を書きまとめる表を作成する参考にする。 ⑤ 要点を書きまとめた表を作成する。	・②において、根拠(イメージを具現するために行動する勇気をもとう。)を伝え合うことで、違う英文を読むときも、考え方を活用できることを指導する。 ・③において、抜き出した英文だけでなく、その根拠(創造するために熟考すること。創造すること。をためらわない。)を交流することで、Guide2 の解答とつながっていることを指導する。			記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。

時間	主な言語活動	備考	知	思	態
8 (再構築し、表現を改善する時間)	USE Write-① ■陸、花、ケイトの詩を読む活動を通して、読み手のイメージを掻き立てるには、自分ではない視点で考えたり、間接的な表現を活用したりすることが有効であると気づき、第1時で書いた自分の詩を改良したり書き直したりすることができる。 ①第1時で書いた自分の詩を仲間と交流する。 ②陸、花、ケイトの書いたマッピングと詩を読み、どの点で工夫があるのか交流する。 ③②で交流した視点を基に、自分が第1時で書いた詩を読み直し、改良できる点について考える。 ④p97 2 Work in Class に取り組み、マッピングと詩の作成に取り組む。 ⑤抽出生徒の詩を読む。(自分ではない視点、間接的な表現を活用している詩、韻を踏んでいる)	・①において、タイトルを隠し、何になりきって書いたのか、想像するよう指導する。 ・②において、陸は消しゴム自体になりきっている視点、花は韻を踏んでいる点、ケイトは自分になりきっているものを客観的に視ている点工夫であることを確認する。 ・④において、②で挙げた視点を含む生徒を3名抽出する。 ◆④において、学習支援ツールを使用し、仲間と詩を共有する。	記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確認に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。活動させているだけにならないよう十分留意する。		
9 (活用し、学習を振り返る時間)	USE Write-② ■仲間の書いた詩を読む活動を通して、読み手のイメージを掻き立てる詩を作成するためには、自分ではない視点で書くこと、間接的な表現を使用することであると理解し、読み手のイメージを掻き立てる英文の詩を書くことができる。 ①第8時で書いた自分の詩を仲間と交流する。 ②仲間の詩について、どの点で工夫があるのか交流する。 ③学習支援ツールで詩を共有し、仲間の詩を②で確認したポイントに沿って読む。 ④自分が好きな詩を選択し、その理由を、詩を書いた仲間と伝え合う。 ⑤文集に載せる自分の詩を完成させる。	・②において、前時に学んだことポイントを視点として読んでいる生徒を価値付ける。 ◆③において、学習支援ツールを使用し、仲間と詩を共有する。 ・④において、読み手のイメージを掻き立てるためのポイントを含んで伝えている生徒を抽出し、全体に紹介する。 ○生徒が提出した英文を、単元の評価規準に照らして評価する。		○	○
後日	ペーパーテスト・パフォーマンステスト		○	○	○

■…ねらい ◆…ICTの活用 「・」…指導上の留意点 ○…評価方法

<評価方法>

第3時 <Topic> If you had 10,000 yen, what would you buy?に対する記述内容を「知識・技能」の評価規準に照らして、仮定法の用法（過去形, could 又は would を使用すること, 語順の正確さ）を理解することができるかを評価する。

第5時 <Topic> "What app do you wish?"動物になりきって、願いを書いた英文における記述内容を「知識・技能」の評価規準に照らして, wish を使用した仮定法の用法（過去形又は could を用いること）や正確な語順で英文を書くことができるかを評価する。

第10時 詩における記述内容を「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準に照らして, 読み手のイメージを掻き立てる英文の詩を書いている, 書こうとしているのかを評価する。